



道農連

2021（令和3）年 4月 1日発行（第97号）

2021年3月の月間活動トピックス

記録的な大雪被害を受け、道選出国会議員等へ緊急要請を実施

～JAふらのに義援金を贈呈～

道農連は3月5日、3月2～3日の大雪により上川や空知などの地域において、農業用ハウスの倒壊等の甚大な被害が発生し、今後の営農に支障をきたすことが懸念されたため、道内選出の国会議員らに「北海道における記録的な大雪被害に関する緊急要請」（文書送付）を実施した。要請では、①早期の農業用ハウス資材確保と不当な値上げ発生防止、②被災農業者に対する長期無利子・無担保の融資資金などの金融対策と財政支援、③他作物への転換に要する費用や新たな機械導入等への支援、④早期の営農回復に資する労働力確保対策などを求めた。

併せて、3月9日に大久保明義委員長や中原浩一書記長（全上川農連委員長）らが特に大きな被害に見舞われたJAふらのを訪れ、義援金を贈呈した。

第1回業態別対策委員会で春闘対策方針などを協議

道農連は3月22日に第1回米・水田農業対策委員会、25日に畑作・野菜対策委員会、26日に酪農・畜産対策委員会を開催し、対策副委員長の選出や、2021年度春闘対策方針などについて協議した。今後は、6月上旬の第2回業態別対策委員会で提言項目を取りまとめ、6月中旬の第3回執行委員会で提言項目を最終決定し、中央行動を展開する。

なお、各委員会の副委員長について、米・水田農業対策は吉田清氏（全上川農連）を、畑作・野菜対策は竹迫真樹氏（全十勝農連）と瀬川明宏氏（全上川農連）を、酪農・畜産対策は梅田俊則氏（北見地区農連）を選出した。

松木謙公氏と政策協定を締結

道農連は3月6日、衆議院北海道2区補欠選挙に立憲民主党から出馬を予定している松木謙公氏と政策協定を結んだ。松木氏が道12区より3期当選し、農水大臣政務官を務めた経過を踏まえ、天北地区農連より農民運動にも理解ある政治家として道農連に対し推薦依頼が挙がっていたことから、2月25日の第1回執行委員会において、政策協定を結んだのち、推薦することを決定した。

3月の活動記録（上記以外）

- 4日 水稻低コスト・省力化生産技術研修会
- 9日 道農産協会企画調整部会
- 18日 道農業再生協議会第4回水田部会
- 24日 農林水産物等販路多様化緊急事業説明会（オンライン）

4月の活動予定

- 8日 米の需給・生乳流通対策中央要請（～9日）
- 15日 第1回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
- 16日 三役会議、第2回執行委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（TEL011-241-5416）まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

